

歴史民俗博物館秋季企画展 安芸高田 芸備線物語

今年、全通から90年を迎えるJR芸備線は、単なる交通手段にとどまらず、人々の暮らしや地域間の交流を促し、産業や文化の発展を支えてきた、本市にとって重要な鉄道路線です。歴史民俗博物館では、全通90年を記念した企画展を開催します。JR芸備線全通までの歴史的背景をはじめ、鉄道を巡る人々の暮らしや交流、沿線地域の移り変わりなどを、貴重な写真や歴史資料を通してひもときます。

【日程】

10月2日(金)～12月7日(月)

【休館日】

毎週火曜日(11/3を除く)、
11月4日(水)

【入館料】500円

展示解説

【日時】

10月4日(日)・18日(日)

11月1日(日)・15日(日)・29日(日)

11:00～11:40



吉田口駅に停車した快速「ちどり」
(1956年)



開業時の向原駅と駅員(1915年)



ちどりヘッドマーク(1953年)
※個人蔵



毛利元就誕生500年
記念ヘッドマーク
(1997年)



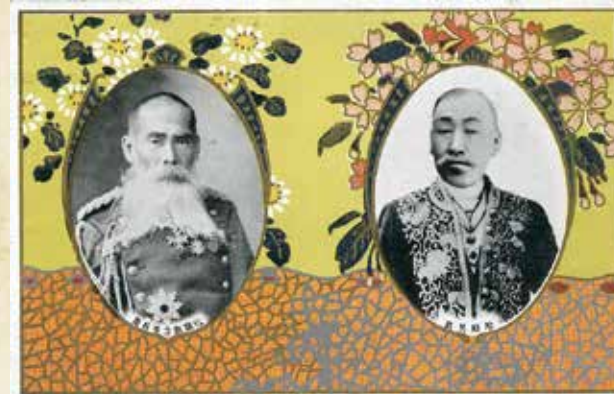
芸備鉄道株式会社ポスター(1915年)
※個人蔵



芸備鉄道開業式 記念絵葉書

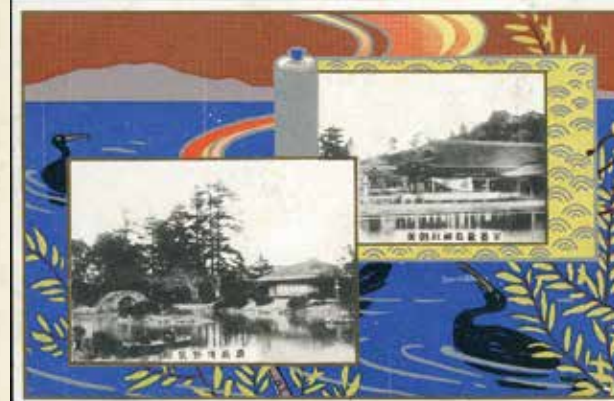
1915(大正4)年6月
(個人蔵/歴史民俗博物館寄託)

1



左「佐藤創立委員長」(佐藤正:会社創立発起人)
右「船越男爵」

3



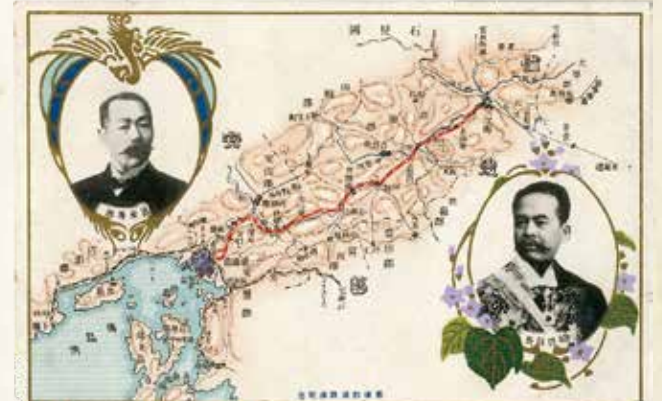
左「広島浅野泉邸」右「安芸厳島神社側面」

2

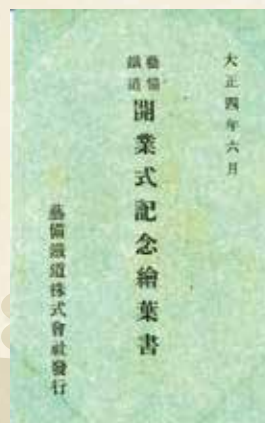


左上「石坂技師長」右上「清水顧問技師」
下「芸備線轟ヶ瀬風景」

4



左上「高束専務」右下「和田社長」
下「芸備鉄道開通記念」



絵葉書包紙

芸備鉄道の敷設計画は、山陽と山陰を結ぶ鉄道の構想から始まりました。まず1915年4月に東広島(現広島駅付近)と志和地(現三次市)間が開通し、6月には三次(現西三次)まで延伸しました。この絵はがきはその記念に作成されたものです。

5点セット(紹介はそのうちの4点)になっているようで、鮮やかな色彩の図柄に芸備鉄道開業の功労者の写真などが印刷されています。2の写真は上三田駅(現広島市白木町)付近の「轟の瀬」とも呼ばれる場所、大きく曲がる三篠川に突き出た岩が連なる景勝地です。3の「広島浅野泉邸」は今の縮景園で、当時はまだ旧広島藩主浅野家の所有でした。ちなみに当主長敷は、6月5日に三次で行われた開業式に来賓として出席しています。4は東広島と三次までの路線を赤で示しています。

今、多くの課題を抱えるJR芸備線ですが、今年は全通(広島と備中神代)90年の年です。企画展「安芸高田芸備線物語」では、今回紹介した資料も展示します。

関連イベント

申込 歴史民俗博物館
※電話・窓口・ホームページお問い合わせフォームで受け付け



ホームページ

公開講座

申込受付中

JR芸備線の敷設過程や車両の変遷、沿線地域の歴史などを県立文書館が所蔵する資料と共に紹介します。

【講師】広島県立文書館職員 西向 宏介さん

【演題】アーカイブズにみる芸備線の成り立ちと地域

【日時】10月11日(日) 13:30～

【場所】マルシンクリスタルアージュ小ホール

【料金】500円 ※博物館入館料込み

【定員】150人 ※先着順・要予約

芸備線ガイドツアー

～そうだ、芸備線に乗ろう～

10/2(金)

申込受付開始

JR芸備線で向原駅から上三田駅、甲立駅を巡るガイドツアー。各駅では駅周辺や駅舎を見学し歴史を解説します。

【日時】11月15日(日) 13:00～16:00 ※博物館集合・解散

【対象】本市に在住・在勤・在学の方

【料金】3,000円(中学生以下1,000円)

※バス代・博物館入館料・保険料込 ※鉄道運賃は別途必要

【定員】20人 ※先着順・要予約

【ガイド】歴史民俗博物館副館長 秋本 哲治

歴史民俗博物館 ☎お太助フォン 42-0070